

## 安全上のご注意

- ここに示した **警告** は誤った取扱いをすると、死亡または重症に結び付く可能性があります。
  - ここに示した **注意** は誤った取扱いをすると、傷害または物的損害に結び付く可能性があります。
- いずれも、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

<b>警告</b>	<p>給湯温度は85℃より高温で使用しないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>85℃より高温でご使用になると、水栓の寿命が短くなり、破損して、やけどをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>加工及び接合等の改造はしないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>小さいお子様だけの使用は避けてください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>やけど・けがをするおそれがあります。</p>
	<p>分解は、保守・点検の決められた項目以外はしないでください。</p> <p><b>分解禁止</b></p> <p>器具が破損し、やけど・けがをしたり、漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>壁付仕様の場合</p> <p>湯側ソケットは給湯側の為、高温になっています。高温部に直接肌を触れないようにしてください。</p> <p><b>接触禁止</b></p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>台付仕様の場合</p> <p>キャビネット内の湯側配管は高温になっていますので直接肌を触れないでください。</p> <p><b>接触禁止</b></p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>
	<p>高温の湯をお使いのときには吐水口は高温になっています。直接肌を触れないでください。</p> <p><b>接触禁止</b></p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>湯水をお使いになる前に、必ず手で適温かどうか確かめてください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。また吐水口とシャワーの切替時や、シャワー吐水状態の切替時に、吐水温度が高くなる場合がありますのでご注意ください。</p>	<p>シャワー仕様の場合</p> <p>お使いになる前に、吐水口側かシャワー側かを吐水切替ハンドルで確認してから湯をお使いください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>吐水口とシャワーを間違えると、やけどをするおそれがあります。</p>
	<p>温度調節ハンドルの表示で湯温を確かめた後、吐水してください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>確かめないと高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いの後は、必ず温度調節ハンドルの目盛を「40」以下に戻しておいてください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>次に使用する時、いきなり高温の湯を浴び、やけどをするおそれがあります。</p>	<p>高温の湯をお使いの後は、器具内に高温の湯が残らないように、しばらく水を流してから止水してください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>次に使用する時、器具内に滞留した高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。</p>

1 ページ

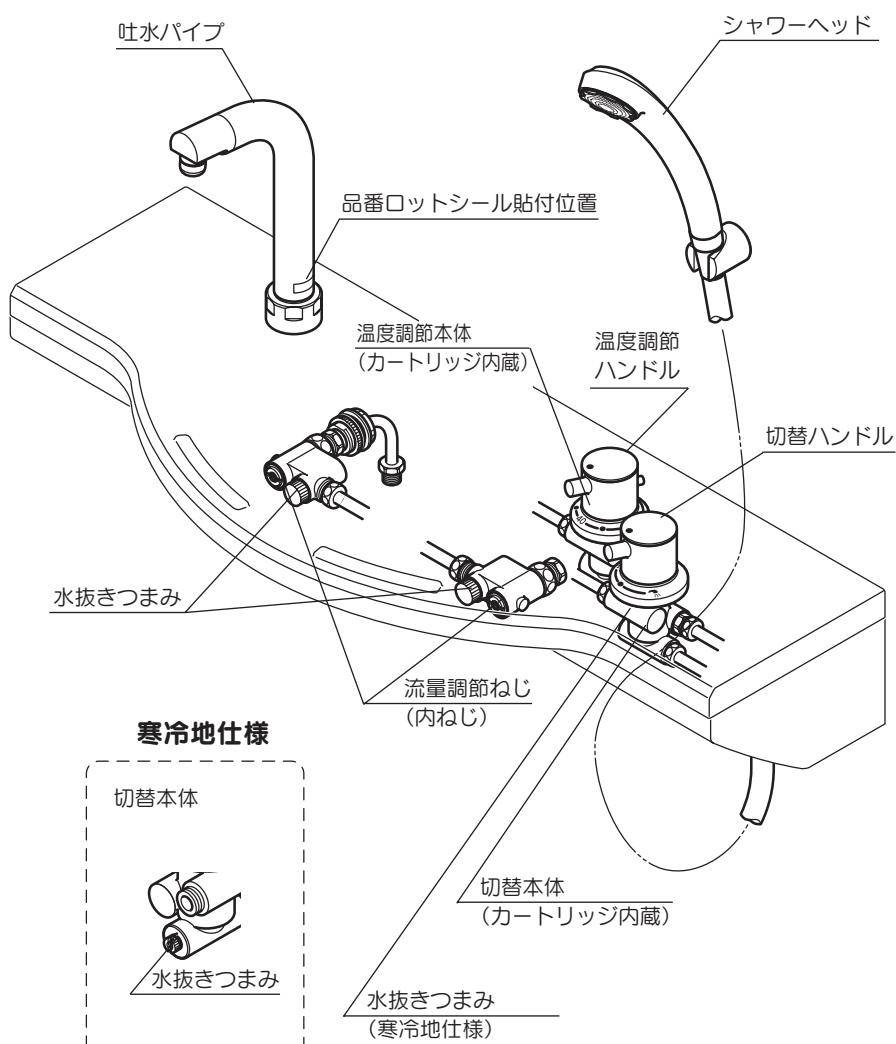
- ご使用前にこの取扱説明書を必ずお読みのうえ、正しくお使いください。
- この取扱説明書と施工説明書は必ずご使用になるお客様の方で保管してください。
- イラストは参考です。仕様により異なります。
- お守りいただく事項の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

<p>この絵表示は、してはいけない「禁止」の内容です</p>	<p>この絵表示は、「分解禁止」の内容です</p>	<p>この絵表示は、「接触禁止」の内容です</p>	<p>この絵表示は、必ず実行していただく「強制」の内容です</p>
<p>やけど、漏水をした場合の処置</p> <p><b>やけど</b> やけどをした場合は、すぐ、その箇所に水を流しながら冷やしてください。そして専門の医師の診察を受けてください。</p> <p><b>漏水</b> 漏水した場合は元栓、または止水栓を開けてください。ポンプをお使いの場合は、ポンプを止めてください。そして専門の業者に修理を依頼してください。</p>	<p>温度調節ハンドルを急に回すと、温度が急上昇することがありますので、ハンドルはゆっくり回してください。</p> <p><b>警告</b></p> <p>やけどをするおそれがあります。</p>	<p>ストレーナの清掃は止水弁又は元栓で必ず湯水を止めてから行ってください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>ストレーナをいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>シャワー仕様の場合</p> <p>シャワーには60℃以上のお湯を通過させないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>通過させると器具が破損し、やけどをするおそれがあります。</p>
<p>寒冷地仕様の場合</p> <p>水抜き栓は水抜き以外の目的で開けないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>水抜き栓をいきなり開けますと高温の湯が出てやけどをしたり、湯水が吹き出して、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>配管などの解氷のため解氷機をご使用の場合、水栓(給水・給湯管含む)には絶対に通電しないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>通電すると水栓や給水・給湯管が発熱し、破損して家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>洗面用の場合</p> <p>シャワースタンドの開口部へ直接湯水をかけないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。</p>	<p>めっき仕様の場合</p> <p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>
<p>器具に乗ったり、よりかかったりして無理な力を加えないでください。吐水口先端に重いものを下げたり、力をかけて回さないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>器具が破損し、けがをしたり、漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>洗面用の場合</p> <p>シャワースタンドの開口部へ直接湯水をかけないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。</p>	<p>めっき仕様の場合</p> <p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>
<p>吐水切替ハンドル(又は吐水ハンドル)操作の急閉止は、配管からの漏水を起こすことがありますので、ゆっくり操作してください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>ゆっくり操作しないと漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>	<p>洗面用の場合</p> <p>シャワースタンドの開口部へ直接湯水をかけないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>漏水で家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。水受けトレーの設置をしてください。</p>	<p>めっき仕様の場合</p> <p>めっき部品は、ぶついたり落としたりしないでください。また、鋭利な物や硬い物を当てないでください。</p> <p><b>禁止</b></p> <p>めっきの表面が割れて、けがをするおそれがあります。万一めっきの表面が割れた場合は、ただちに新しい部品に交換してください。</p>	<p>凍結が予想される際は、一般地仕様をお使いの場合、少量の水を出しておくか、配管に布を巻くなどして、凍結を防止してください。寒冷地仕様をお使いの場合は配管の水抜き操作と水栓金具の水抜き操作を行ってください。</p> <p><b>注意</b></p> <p>水抜きしないと凍結破損で漏水し、家財などを濡らす財産損害発生のおそれがあります。</p>

2 ページ

## 各部のなまえ

水栓本体の品番を認識するため吐水パイプ側面に品番ロットシールを貼付しています。



(注意) 各部品の形状など、仕様により異なる場合があります。

3 ページ

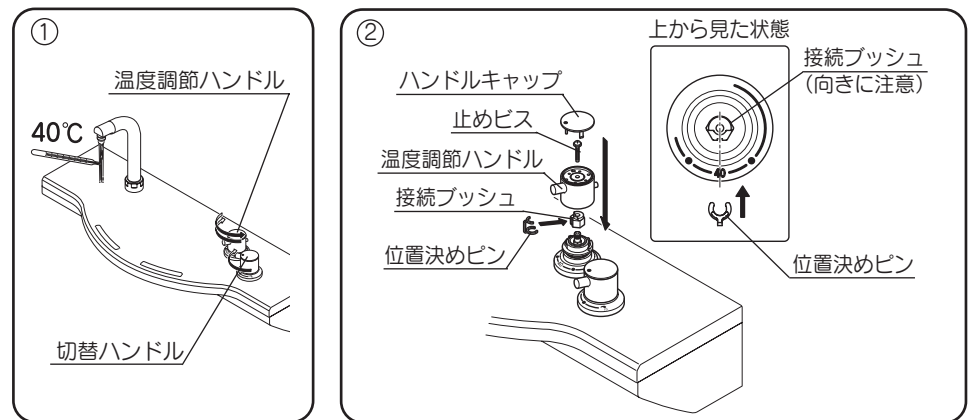
## 快適にお使いいただくために

### 温度調節のしかた

温度調節ハンドルは工場て設定しておりますが、使用条件(給水・給湯圧力、給湯温度)が異なると、表示通りの吐水温度にならない場合があります。また、給湯器の設定温度が低い場合は、サーモスタット水栓の温度調節が出来ない場合があります。給湯器の設定温度は50℃以上を目安にしてください。適温使用をご要望の場合は、以下の手順で温度調節をおこなってください。

#### 調節する前に

- 1: 流量調節ねじが全開になっているか確かめる。
- 2: ストレーナのゴミづまりはないか確かめる。



- 1) 切替ハンドルをカラン側全開にしてください。
- 2) ①温度調節ハンドルにて水側いっぱい回した後、②徐々に温度を上げていき、温度表示に関係なく吐水温度が適温(40℃)になるように温度調節ハンドルを回してください。
- 3) 温度調節ハンドルの切り欠き部を利用し、精密ドライバー(-)等でハンドルキャップをはずしてください。
- 4) 適温(40℃)吐水位置で、温度調節ハンドルを共回りしないよう手で持って固定しながら、止めビスを(+ドライバー)でゆるめて温度調節ハンドルと位置決めピンと接続プッシュをとりはずしてください。
- 5) イラストを参照して接続プッシュを「40」の表示位置にあわせて取り付け、位置決めピンと温度調節ハンドルを取り付けてください。
- 6) 止めビスを(+ドライバー)を用いて、手で締め付けてください。(電動ドライバー等は使用しないでください)
- 7) ハンドルキャップのマークを「40」の表示に合わせてはめ込みます。

<お願い> 温度調節をした後は、温度調節前と温度が変わっているので注意してください。  
<ご注意> 水側いっぱい吐水したとき、給湯器が着火しないことを確認してください。

4 ページ

# 快適にお使いいただくために

## 流量調節ねじでの流量調節のしかた

(1) 湯側の吐水の太さを確認

切替ハンドルをカラン側全開にした後、温度調節ハンドルを高温側いっぱいまで回して、吐水の太さを確認してください。

(2) 水側の吐水の太さを確認

切替ハンドルをカラン側全開にした後、温度調節ハンドルを低温側いっぱいまで回して、吐水の太さを確認してください。

(3) 流量調節ねじ (内ねじ)

流量調節ねじを左に回すと流量が多くなり、右に回すと少なくなりますので、湯側のシャワーの散水状態と同程度になるよう水側を調節してください。

## お使いいただくにあたり

ご利用に際し下記のような現象があった場合、水栓本体の故障が原因ではありません。

- 残水による水垂れについて  
水を止めた後、シャワーヘッドより水滴が落ちる場合があります。これはシャワーヘッド内の残水が落ちている場合が多く、水栓からの水漏れではありません。シャワーの使用後、シャワーヘッドを振って水切りをしておくことで予防できます。
- 止水位置の注意  
水を止めた後、少量の水が流れている場合があります。これは止水した際、切替ハンドルのマークが止水位置よりずれている場合が多く、水栓からの水漏れではありません。止水の際、確実に切替ハンドルのマークを中心にそろえると予防できます。

(1)

(2) マーク  
切替ハンドル  
中心にそろえる

5 ページ

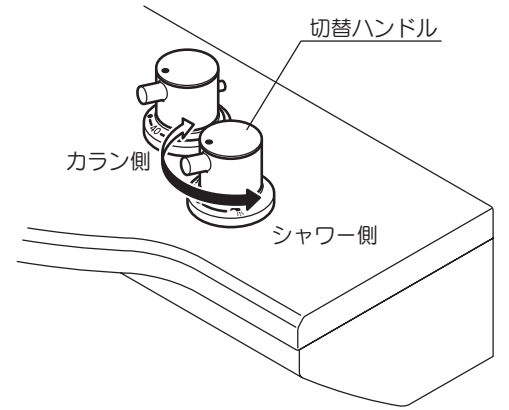
# 使いかた

## 吐水・止水・シャワーの切り替え

切替ハンドルのマークを「止」に合わせると止水し右に回すとカラン側。左に回すとシャワー側に切り替わります。

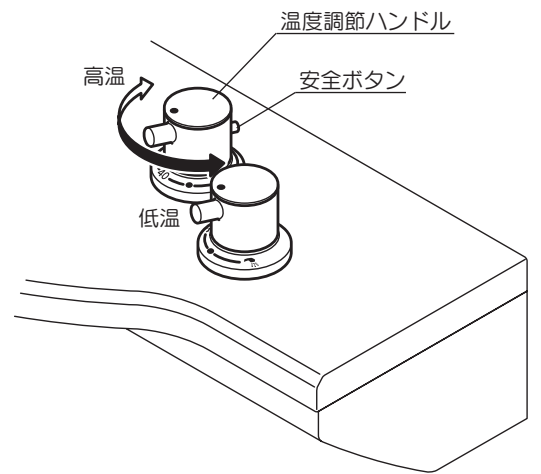
また、吐水量はハンドルを回すにしたがって増加していきますので、お好みの吐水量にあわせて、お使いください。

(お願い)  
全開時に吐水量が多すぎるまたは、少なすぎる場合は「流量調節ねじでの流量調節のしかた」を参考に調節してください。



## 温度の調節

温度調節ハンドルを回してお好みの湯温に合わせてお使いください。目盛「40」は湯温を示す目安としてください。誤って熱湯を出さないように安全ボタンが付いています。温度調節ハンドルは目盛「40」付近でストップしますので、これより高温で吐水したいときは、安全ボタンを押しながら回してください。なお、高温の湯を使用した後は、ハンドルを必ず目盛「40」以下に戻しておいてください。



6 ページ

## 凍結予防 (一般地仕様の場合のみ)

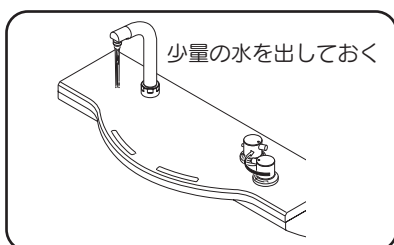
### 注意

凍結が予測される場合は、以下の処置をおこなって凍結予防をしてください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らすおそれがあります。

<予防1>  
浴室内の保温をおこなう。  
(換気扇はつけない。窓を閉めておく。また、風呂の水を溜めておき浴室を暖める等)

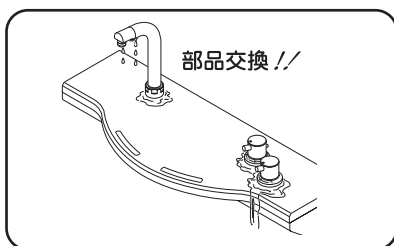


<予防2>  
少量の水を出しておく。

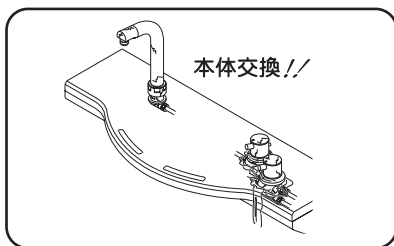


### <凍結が発生した場合の処置>

<部品交換>  
冷え込んだ夜の翌日、ハンドル部からの水漏れ・水が止まらない・温度が合わない等の現象が発生した場合、凍結による内部部品の破損が考えられます。この場合、内部部品(温度調節カートリッジ、切替カートリッジ)の交換が必要となります。「流量調節ねじでの流量調節のしかた」を参考に流量調節ねじを、湯側・水側ともに右いっぱいまで回して水を止めてください。



<本体交換>  
冷え込んだ夜の翌日、本体カバー内部より大きな水の流れる音がした場合、凍結による水栓本体部のひび割れ・ふくれ、配管の破損等が考えられます。この場合、水栓本体・配管部品の交換が必要となります。家屋の元栓を締めてください。



<お願い>  
寒冷地仕様で水抜きをされなかった場合、もしくは寒冷地仕様以外の凍結による破損は保証期間内であっても有償修理となりますので、凍結破損させないように注意してください。

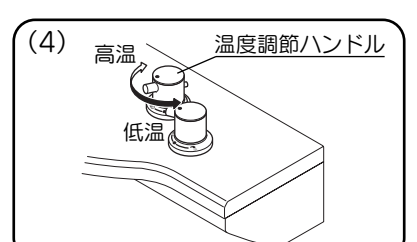
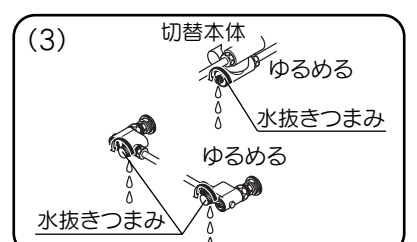
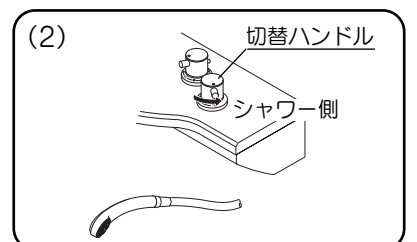
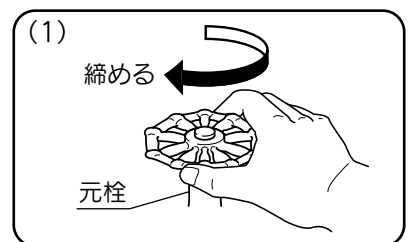
7 ページ

## 水抜き方法 (寒冷地仕様の場合のみ)

### 注意

凍結のおそれのある場合は、屋内配管の水抜き操作とあわせて下記の手順にしたがって水抜きをしてください。凍結破損で漏水し、家財などを濡らすおそれがあります。

- (1) 家屋の元栓を締めてください。システムバスの説明書にしたがい、カウンター下カバーを外してください。
- (2) シャワーヘッドを床面に置いて、切替ハンドルをシャワー側にしてください。(お願い) このとき配管部の止水が完全にされているか確認してください。
- (3) 湯側・水側それぞれの止水栓の水抜きつまみと、切替本体の水抜きつまみをゆるめてください。(お願い) 湯側(左側)の止水栓内には、熱湯が溜まっている場合がありますので、やけどに注意してください。
- (4) 温度調節ハンドルを高温側に合わせて、水が出なくなったら、さらに低温側に回してください。
- (5) 水が出なくなったら、切替ハンドルをカラン側に再度温度調節ハンドルを高温側・低温側に回してください。



**注意**  
高温の湯を使った後は、しばらく水を流してください。水栓内に残った高温の湯が出てやけどをするおそれがあります。

(6) 再通水する時は、水抜きつまみを元通りに戻してからお使いください。

8 ページ

## 日頃のお手入れと点検

### ⚠ 注意

定期的(月1回)に水漏れがないか確認してください。

部品の劣化・摩耗による漏水が発見できず、家財などを濡らすおそれがあります。

器具がいつまでも美しく保たれるように日頃のお手入れをお願いします。

#### <軽い汚れの場合>

水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞って、汚れを拭き取ってください。

#### <ひどい汚れの場合>

中性洗剤をぬるま湯で薄めて、柔らかい布で汚れを拭き取り、その後水洗いし、乾いた布で仕上げてください。



#### (お願い)

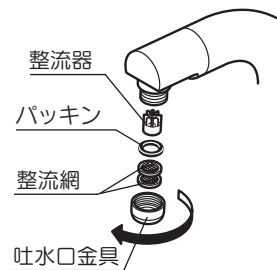
- \*みがき粉、クレンザーなど粒子の粗い洗剤やスチール、ナイロンタワシは、器具の表面を傷付けますので絶対使用しないでください。
- \*酸性洗剤、アルカリ性洗剤、カビ取り剤、シンナー、ベンジン、アルコールなどは、器具の樹脂部分(ハンドル、シャワーヘッド、本体カバー、パッキンなど)を傷めますので使用しないでください。本体カバーは樹脂塗装でできているので光沢がなくなることがあります。
- \*メラミンフォームを使用する場合は、文字やマーク等印刷部をこすらないようにしてください。



### 整流網の清掃

吐水口金具内にゴミ・水アカ等が詰まっていると吐水量の減少や吐水の乱れ、水切れが悪いなどの不具合が生じます。定期的なお手入れをお願いします。

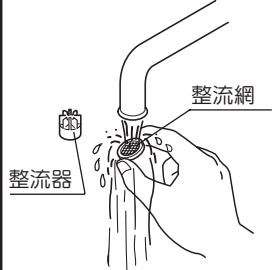
(1)



吐水口金具を左に回してははずしてください。

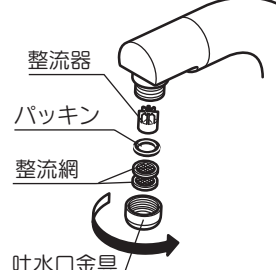
(お願い)  
吐水口金具内部の部品を紛失しないよう、ザルなどで受けをしてください。

(2)



整流網と整流器をよく水洗いし、砂、ゴミなどを完全に取り除いてください。

(3)



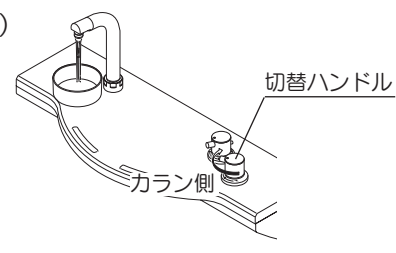
整流器を水栓本体に入れてください。  
整流網、パッキンを吐水口金具に入れ、水栓本体にねじ込んでください。

### ストレーナの清掃

ストレーナにゴミ・水アカ等が詰まっていると、吐水量が少なくなったり、給湯器の着火が悪くなり、温度調節がしづらくなりますので、下記の方法で湯側・水側それぞれのストレーナの清掃をおこなってください。

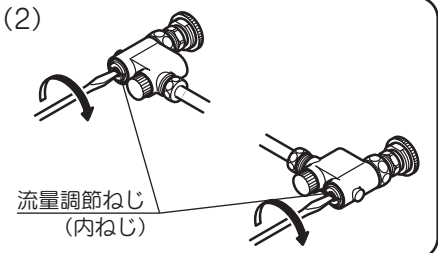
(注)湯側のストレーナ内には、熱湯が溜まっている場合がありますので、やけどをしないよう注意してください。

(1)



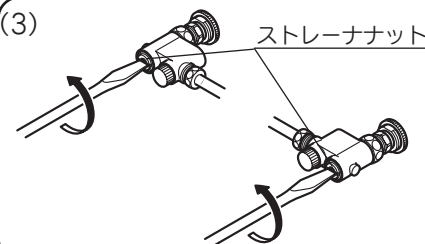
切替ハンドルをカラン側に回し、吐水状態にし、ストレーナ清掃のため洗面器等に水・湯をためてください。

(2)



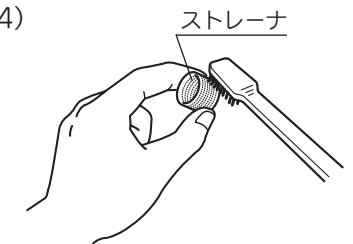
流量調節ねじを⊖ドライバーで右にいっぱいまで回して締め込み、湯・水を完全に止めます。

(3)



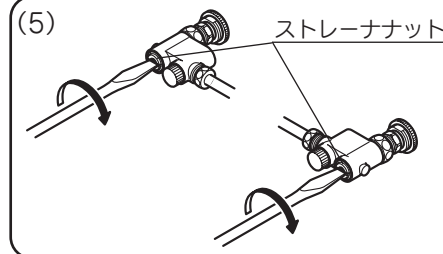
ストレーナナットを⊖ドライバーで左に回してはずしてください。

(4)



ストレーナ表面に付着したゴミ・水アカ等を歯ブラシ等で清掃し、洗面器等にためた水・湯にて完全に洗い流してください。

(5)



ストレーナナットを本体にねじ込みます。ねじ込む際、ストレーナナットが回らなくなるまで、確実にねじ込んでください。

最後に「流量調節ねじでの流量調節のしかた」に従って流量を調節してください。

# 故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記の点検をしてください。

現象	調べたいところ	処置
■水の出が悪い	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流量調節ねじは、全開になっていますか。</li> <li>・整流網の目づまりはありませんか。</li> <li>・湯・水のストレーナの目づまりはありませんか。</li> <li>・給湯器から高温の湯がきていますか。</li> <li>・能力切替式ガス給湯器で適温能力にセットされていますか。</li> <li>・凍結していませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流量調節ねじで流量を調節する。</li> <li>・整流網の清掃をする。</li> <li>・ストレーナの清掃をする。</li> <li>・給湯器の設定温度を高温にする。</li> <li>・ガス給湯器の能力を適正能力にセットする。</li> <li>・ぬるま湯をかけて溶かす。</li> </ul>
■高温しが出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混合水栓に水がきていますか。</li> <li>・水側の流量調節ねじは、全開になっていますか。</li> <li>・水側のストレーナの目づまりはありませんか。</li> <li>・温度調節ハンドルが間違った位置にはめ込まれていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流量調節ねじの流量を調節する。</li> <li>・水側の流量調節ねじで流量を調節する。</li> <li>・ストレーナの清掃をする。</li> <li>・温度調節ハンドルを設定しなおす。</li> </ul>
■低温しが出ない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・混合水栓に湯がきていますか。</li> <li>・給湯器から熱い湯がきていますか。</li> <li>・湯側のストレーナの目づまりはありませんか。</li> <li>・温度調節ハンドルが間違った位置にはめ込まれていませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流量調節ねじの流量を調節する。</li> <li>・給湯器の設定・電源・ガス栓等の確認をする。</li> <li>・ストレーナの清掃をする。</li> <li>・温度調節ハンドルを設定しなおす。</li> </ul>
■温度調節がうまくできない	<ul style="list-style-type: none"> <li>・湯側・水側の流量調節ねじは、全開になっていますか。</li> <li>・給湯器から熱い湯がきていますか。</li> <li>・他の場所で同時にお湯を使用していませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流量調節ねじで流量を調節する。</li> <li>・給湯器の設定・電源・ガス栓等の確認をする。</li> <li>・給湯温度・給湯圧が変化している場合があります。</li> </ul>
■止水できない (吐水口より水滴が落ちる) (シャワーより水滴が落ちる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流量調節ハンドルは、止になっていますか。</li> <li>・整流網の目づまりはありませんか。</li> <li>・シャワーヘッドの残水が滴下していませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・流量調節ハンドルの止水位置を確認する。</li> <li>・整流網の清掃をする。</li> <li>・シャワーヘッドの水切りをする。</li> </ul>
■シャワーが飛び散る	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャワーヘッドの散水板にゴミがつまっていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・シャワーヘッドの清掃をする。</li> </ul>
■ホース接続部より水が漏れる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・締め付けが緩んでいませんか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・増し締めをする。</li> </ul>
■水栓本体に錆が発生する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水トラップが設置されていますか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・排水より硫化ガスが上がって錆が発生している場合があります。排水トラップを設置してください。</li> </ul>

修理のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。

水栓の品番をご確認ください

水栓に貼ってある品番シールでご確認ください。

修理料金は技術料+部品代+出張料で構成されています

**技術料**…診断・故障箇所の修理及び部品交換・調整・修理完了時の点検等の作業にかかる費用

**部品代**…修理に使用した部品代

**出張料**…製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用

KVK修理受付センター TEL 0120-0120-474-161

上記フリーダイヤルは携帯電話からはご利用になれません。携帯電話からは058-234-8946をご利用ください。

受付時間/平日 9:00~18:30 土・日・祝日 9:00~17:00

**株式会社 KVK**

本社・工場/〒501-1195 岐阜市黒野308 / TEL 058-239-3111 代表  
インターネットホームページ <http://www.kvk.co.jp/>

# 定期的な部品交換 (部品は水栓の種類によって異なります)

使用年数											
1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年	10年	11年	12年
お客様による日常のお手入れ・点検											買い替え ご検討
消耗部品の交換 (こまバックン等)											
磨耗劣化部品の交換											
取付日	<p><b>部品の交換</b> 部品が磨耗・劣化すると水漏れ等の原因になりますので、交換が必要です。 ・磨耗・劣化部品の例 (水栓の種類によって異なります) 例) カートリッジ、シャワーヘッド、シャワーホース、逆止弁等</p> <p><b>【△注意】</b> 中でもより安全のため、逆止弁は早めの点検・交換をおすすめします。逆止弁が正常に機能しないと、状況によっては一度吐水した水が逆流するおそれがあります。 (逆止弁は仕様により付いていないものがあります)</p> <p>部品交換のご依頼は、取付店・販売店またはKVK修理受付センターにご連絡ください。</p>										
	<p><b>補修部品の供給期間</b> この製品の補修用部品 (機能維持に不可欠な部品) の供給期間は製造中止後10年です。</p>										